

令和元年度 第3回 山口南警察署協議会会議録

開催日時		令和元年12月4日(水) 15時00分から16時30分まで
開催場所		山口南警察署講堂
出席者	委員	古谷雅之会長、上野敦子副会長、山下美代子、西村清和、 上野知一、伊藤瑞生、原田茂樹、仙石愛子 計8名
	警察署	署長、副署長、警務課長、会計課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計9名
議題		1 業務説明 2 地域警察官の事態対処能力向上に向けた取組
<p>1 会長挨拶</p> <p>令和元年度3回目の警察署協議会へ出席をいただき感謝を申し上げます。</p> <p>11月13日、山口県警察本部で開催された警察署協議会会長会議に出席して、山口南警察署協議会も、もっと若手警察官や女性警察官、交番・駐在所の方と交流すべきだと感じたところ、早速、若手警察官との懇談の場を設けていただいた。</p> <p>さて、本日は、「地域警察官の事態対処能力向上に向けた取組」の説明をいただくことになっている。地域警察官という言葉で記憶にあるのは、2018年9月、仙台市の交番で警察官が訪ねてきた男に刃物で刺され殺害されるという事件や、今年6月、大阪の交番の前で警察官が包丁で刺され拳銃を奪われるという事件である。</p> <p>警察官は、私たち住民の安全安心の確保と引換えに、自分の命が危険にさらされているが「命あつての物種」である。</p> <p>今日の説明を聞き、助言や積極的な意見交換ができれば幸いである。</p> <p>委員の皆様にも御協力をお願いします。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>省略</p> <p>3 業務説明</p> <p>平成31年1月～令和元年10月の業務推進状況について、以下の項目に沿って説明した。</p>		

- (1) 警務課関係
 - ア 警察安全相談受理状況
- (2) 生活安全課関係
 - ア 犯罪抑止総合対策の推進状況
 - イ 少年非行の現状
- (3) 地域課関係
 - ア 110番等受理状況
 - イ 地域安全活動の取組状況
- (4) 刑事課関係
 - ア 刑法犯の認知・検挙状況
 - イ 特殊詐欺の認知状況
- (5) 交通課関係
 - ア 交通事故発生状況

4 諮問事項

地域警察官の事態対処能力向上に向けた取組について説明した。

5 協議

(委員)

駐在所には警察官が住み込んでいるとのことだが、交番や駐在所の設置に関して、住民の数に準じているなど、設置基準はあるのか。

また、交番と駐在所は、それぞれ何人が勤務しているのか。

(地域課長)

交番や駐在所については、犯罪の発生状況、交番と駐在所、駐在所と駐在所の距離、そこに住む人口等を総合的に勘案して設置している。

勤務については、交番は24時間体制、1当務2人又は3人体制で勤務している。駐在所は基本的に1人配置、可能な限り隣接する駐在所の勤務員とペアで警らさせるなどして運用している。

(委員)

交番は、複数の勤務員が24時間体制で勤務し、いつ駆け込んでも対応が可能であることは理解した。

しかし、駐在所は警察官がいないことが多いように感じる。駐在所の方も山口南警察署の一員であり、時にはパトカーに乗車しての勤務や巡回連絡のため不在になることがあるのも分かるが、地域住民は、何かあったとき、駐在所に行けば対応してもらえるという思いを持っているので、いざというとき、駐在所に行っても誰もいないというのはいかがなものかと感じる。

駐在所が不在でも電話をすれば山口南警察署に転送されるし、110番通報をすれば山口南警察署に対応してもらえることは分かるが、どのように考えているのか。

(地域課長)

駐在所に電話がかかった際に、不在であれば山口南警察署に転送されるようにしているので、用件を言っていただければ、活動中の駐在所勤務員に対応するように指示して対応させるし、他の事案対応等で対応が難しい場合は、他のパトカーに対応させている。

駐在所勤務員についても、巡回連絡、警ら等の勤務を指定しているため、不在になる時間帯が生じることはご理解いただきたい。

また、交番には、警らや交通指導取締りによる勤務員の不在の際に対応できるよう、日中のみではあるが、事務の取次ぎ等を行う「交番相談員」を配置している。

(委員)

特に高齢者のなかには、交番や駐在所をいざというときのよりどころにしている方もいると思う。

私は勤務員が警らなど他の用務で不在にしていることが分かっているが、実態を知らない方からはなかなか理解してもらえないと思う。

(委員)

いろいろな時間帯・場所でパトカーを見掛けたり、パトロール中の警察官から声を掛けてもらったりしているが、一日の勤務のうち、パトカーで出る回数や巡回する時間等は決まっているのか。

(地域課長)

勤務員は、基本的にあらかじめ警察署で決めている勤務指定に基づいて街頭活動をしており、事案の発生状況や管内情勢に応じて警ら活動等を行っている。

(委員)

住民もこうした活動を期待しているので、ぜひ続けていただきたい。

(委員)

警察に通報する際、最初に駐在所に電話して、駐在所が不在の場合は110番をするなど決まった順番はあるのか。

(地域課長)

決まった順番はないので、急を要する場合は、一番早く対応できる110番通報を行っていただきたい。

(委員)

女性の警察官が増えてきているが、女性と男性の配置は考慮しているのか。また、女性も男性と同じ仕事をしているのか。

(地域課長)

基本的に女性警察官も男性警察官も警察学校を卒業した後は、交番で勤務することとなり、交番勤務を経験した後、本人の希望や適性を加味してさまざまな業務を担当することとなる。

(署長)

山口県警察には警察官が約3,000人いるが、将来的には女性警察官の比率を概ね10%にする予定であり、これから女性の職域はどんどん増え、いろいろな部門に登用されていくことになる。警察本部では、女性警察官も男性警察官と変わりなく活躍できるような運用を考えている。

(委員)

将来的に、駐在所も若手の方との2人くらいの配置になった方が良いのではないかと思う。定数の関係があるから一朝一夕にはいかないと思うが、特に人口を多く抱える駐在所において優先的に2人配置をできないだろうか。

(署長)

駐在所は基本的に一人配置としているが、近くの駐在所勤務員同士でペアになって警らするなど運用を工夫しており、一つの駐在所に勤務員を2人配置することについてはハードルが高いと考えられる。

全国警察の課題として、交番、駐在所に絶えず人はいてほしい、反面、警らもしてほしいという相反するものがある。

この部分の調和をとるため、当署では、要望があった時間帯に警らをするために力を入れている。例えば、声かけ事案があったときには、下校時間帯は積極的に街頭活動を行い、その他の時間帯は、地域の方が来られたときに対応できるように在所するなど、勤務時間の調整に取り組んでいる。

(委員)

毎月開催する民生委員の定例会には、交番や駐在所の方にも出席していただき、地域の現状、犯罪の発生状況、危険箇所等の情報をいただいている。

情報をいただくことで、駅前につきまといが多いなどの情報をいただいた際は、駅周辺を避けての帰宅を促すなど、効果的な広報や下校指導をするなど、民生委員にも協力できることがある。

また、安否確認等で、一人暮らしや認知症の方の所在が分からないときには、警察に協力してもらっているので、今後もよろしく願いたい。

(委員)

阿知須交番の方には、「ふれあいまつり」等の際にも巡回していただき、また、学校周辺の見守りもよく行っていただいております、大変助かっている。

そのほか、青少年育成会議等、いろいろな会議にも来賓として出席されて意見を言っていただき、私たちの意見にも耳を傾けてくださっている。

先日、中学校の運動会が行われたとき、交番の若手の方が来賓で来られた。子供たちにとって、警察官と会話し、触れ合える大変良い機会となった。制服を着た警察官に来ていただき、座っていただくだけで、場が引き締まる。

警察官が学校行事に来られる機会が増え、子供たちとも触れ合っていたら、とても良いと思う。

6 意見交換・質疑応答

(委員)

少年非行の数が増えているとのことだが、どのように数を計上しているのか。また、万引きが増えている理由はあるのか。

(生活安全課長)

今回説明した少年非行の数は、延べ人数で計上している。

万引きについては、他の犯罪とは若干性質が異なる点があり、店が万引き対策に目を光らせれば検挙件数が増えることがあり、令和元年10月末までの検挙者の年齢構成は、60歳以上が7割を占めており、少年は含まれていない。

万引き対策については、少年に対しては、主に少年リーダーズ活動等を通じて対策を行っているが、高齢者に対しては、孫・子の世代に対して『万引きをしないように』と家庭等で話してもらうことで、間接的に伝える対策等を行っている。

今年万引きが前年同期比で20人増加している理由は分からないが、店が万引き対策に力を入れておられることも一因になっているものと思う。

(委員)

非行少年の多くは、DVや家庭環境等、家庭の問題を抱えていると思う。

しかし、警察のお世話になった少年であっても、愛情を持って接していただいたことで立ち直り、二度と非行を行わなくなったということもたくさんあるので、犯罪を起こさないように厳しく取り締まることも必要だが、ぜひ、教育という目も持って対応していただければと思う。

(委員)

夜、バイクが大きな音を立てて通行することがあるが、駐在所の方も出て対応しているのか。

(地域課長)

通報があれば当然対応するが、通報がなかったとしても、そのようなことがあれば必ず対応している。

(署長)

今年の夏、いろいろなところからバイクの騒音に関する110番通報があり、バイクの特徴や乗っていた少年の人定事項を免許証等で確認し、写真撮影を行うなどした。そして、次に何か違法行為をした際は、その資料を基に検挙するとい

うことで、防府警察署、山口警察署、当署の3署合同で暴走族の少年を捕まえたという事例がある。

(委員)

昔は、事故があるとパトカーが来る程度だったが、最近では大変な事故があったのかと思うくらい、パトカーや消防車等、大勢の人が現場に来る。

交通事故の通報を受けた際はどのような対応をするのか。

(署長)

警察に交通事故の通報が入れば、通報者に事故概要を聴取し、車から人が出られないなどの状況であれば、すぐにレスキューを呼ぶなど、状況に応じて消防署と連携して大きく立ち上がっている。

当署から消防署に対して事故の連絡をすることもあれば、通報者が先に119番通報をして消防署から警察に連絡が入って対応することもある。

(委員)

10月に阿知須地区で「ねんりん大運動会」という高齢者が参加する運動会があり、山口南警察署からも警察官が来られて競技にも参加されていた。

私がすごく良いと感じたのは、この大運動会が高齢者が警察官と接する場となったこと、また、いろいろな防犯指導等を受けられる機会となったことなので、今後もぜひ続けていただけたらありがたいと思う。

7 配付資料

令和元年度第3回警察署協議会資料（警察署作成）

8 その他

令和元年度第4回警察署協議会は、令和2年2月上旬に開催することを決定した。